



学校教育目標について

本年度の学校教育目標を昨年同様、『ふるさとを想い、学ぶ楽しさを実感する、心ゆたかでたくましい「中原っこ」の育成』としました。この学校目標のもと、保護者や地域の皆さまと一緒に子どもたちの力を伸ばしていきたいと思えます。子どもたちはいろんな可能性を秘めています。学校生活をとおして「自分にはこんな力があるんだ」と、未だ知らなかった自分の力に気づくこともたくさんあると思えます。だからこそ、ふるさとのことを考えたり、学ぶ楽しさを実感したりすることで、今まで知らなかった新たな自分の力に気づき、自分の可能性を広げ、確実に「前へ」と踏み出しくれるのではないかと考えています。特に、学校教育目標の「学ぶ楽しさを実感する」につきましては、現在は、予測が難しく変化が激しい時代です。学ぶ楽しさを身に付けておけば、生涯にわたり、社会の変化に対応するため、自ら学び続ける力につながると私自身は考えます。生物の進化について考察したことで有名な自然科学者のダーウィンは、「種の起源」という著書の中で「生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは、変化に最もよく対応したものである。」と言っています。生き残る種を「生き抜く力」と置き換えることが現代社会ではできるのではないのでしょうか。児童の皆さんが社会の変化に対応する力を伸ばすことは本当に大事だと、ダーウィンの言葉からも考えました。

それに加え、今年度も南小国町や中原だからこそできるさまざまな体験活動を進め、「非認知能力」(主体性・創造性・協働力・共感力・公共性・コミュニケーション力・忍耐力・自己肯定感・自己管理能力などの学力とは別の力)を高めて、時代の変化に対応できる心身ともにたくましい児童の育成につなげたいとも思っています。

安全・安心な学校に

◎交通教室

4月10日に、「交通安全教室」を行いました。小国警察署・駐在所の方や地域交通安全活動推進委員の皆さん等が来校され、今年も「危険予測シミュレーター」を活用し、安全に横断歩道をわたるための注意点などを学びました。また、警察の方から不審者対応の話もありました。南小国町は観光地でもあります、また、ゴールデンウィークに入っていますのでより交通量も多くなると思えます。交通安全教室で学んだことを心に留め、交通安全をさらに進めてほしいと思います。



危険予測シミュレーターによる体験

◎地震避難訓練・校長講話

熊本地震の発生からはや9年がたちました。4月18日に地震避難訓練を、21日の全校集会で私からの講話を実施しました。講話では西原村で震度7を経験した私自身が感じたことについて話をしました。避難訓練等の日頃からの備えが大切なこと、周りと協力することが大事なこと、人のために行動できるようになってほしいことなどです。地震などの災害は、いつ起こるか分かりません。災害に備え、ご家庭でも災害について、お子さんと一緒に話をいただければと思います。また、その他、4月に行われた歓迎遠足などの学校行事につきましては、学校ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。



避難訓練後の教頭先生の話



熊本地震の時の
西原村の被害

※保護者の皆さん、4月25日の授業参観・後援会総会・PTA総会・学級懇談会等お世話になりました。